

近隣大学院学納金一覧

(円)

所在	大学院名	課程	入学金	授業料等	初年度
				(年額)	合計
京都	京都光華女子大学大学院	修士	180,000	900,000	1,080,000
京都	京都橘大学大学院	修士	200,000	630,000	830,000
		博士			
大阪	藍野大学大学院	修士	100,000	750,000	850,000
大阪	大阪医科大学大学院	修士	200,000	580,000	780,000
		博士			
大阪	摂南大学大学院	修士	150,000	870,000	1,020,000
兵庫	関西看護医療大学大学院	修士	高度実践看護職コース	1,100,000	1,400,000
			教育者・研究者コース	800,000	1,100,000
兵庫	関西国際大学大学院	修士	200,000	800,000	1,000,000
兵庫	関西福祉大学大学院	修士	240,000	900,000	1,140,000
		博士			
兵庫	甲南女子大学大学院	修士	200,000	500,000	700,000
兵庫	姫路大学大学院	修士	200,000	700,000	900,000
兵庫	兵庫医療大学大学院	修士	100,000	500,000	600,000
兵庫	武庫川女子大学大学院	修士	280,000	1,000,000	1,280,000
		博士	280,000	900,000	1,180,000
	平均		209,286	780,714	990,000
兵庫	神戸女子大学大学院	修士	200,000	750,000	950,000
		博士			

※博士前期課程の専門看護師コースを選択した場合、実習費が実費で必要となります。

各大学HPより本学で作成

神戸女子大学大学院奨学金規程

- 第1条** この規程は、神戸女子大学大学院の学生に適用する。
- 2 この規程の適用を受けた者は、行吉学園奨学金規程及び神戸女子大学大学院外国人留学生授業料減免規程の適用を受けることができない。
- 第2条** 神戸女子大学大学院において高度な能力を養い、優れた人材を育成するために、次の各号に該当する者に対し、毎年審査の上奨学金を支給する。
- (1) 人物並びに学業成績が優秀で勉学意欲のある者
 - (2) 経済的に困窮している者で経済的支援により、能力がより発揮されると期待できる者
 - (3) 博士後期課程大学院生においては博士学位の取得が期待される者
- 2 奨学生の選考に関する事項は、学長が所管する。
- 3 学長は、選考した奨学生について、理事長に推薦するものとする。
- 第3条** 奨学金の支給を受けようとする者は、奨学金交付願書を毎年指定された日までに提出しなければならない。
- 第4条** 奨学金 A は、修士課程及び博士前期課程大学院生を対象とし、授業料年額の2分の1を支給する。
- 2 奨学金 A の受給者が、審査要件を満たさなくなった場合は、支給した奨学金相当額を本学に返還するよう求めることができる。
- 3 奨学金 B は、博士後期課程大学院生を対象とし、授業料年額と同額を支給する。
- 4 奨学金 B の受給者が、審査要件を満たさなくなった場合は、支給した奨学金相当額を、奨学金 B の受給者が博士後期課程の修業年限経過後5年以内に博士学位を取得しなかった場合は、支給した奨学金の2分の1相当額を本学に返還するよう求めることができる。
- 5 この規程に定める奨学金は、本学園以外から支給される奨学金との重複を妨げない。
- 第5条** 奨学金の支給は、前期及び後期の2回とし、当該期の授業料が納付済みであることを確認の上、各々年間支給額の2分の1を支給する。
- 第6条** 奨学金の支給期間は、修士課程及び博士前期課程大学院生は2年、博士後期課程大学院生は3年を限度とする。
- 但し、長期履修学生に関する取扱い規程の適用者については、長期履修を認められた期間を限度とする。
- 第7条** 奨学生が休学又は長期にわたって欠席したときは、奨学金の支給を休止する。
- 第8条** 在学中奨学生として不適当と認められたときは、学長は部局長会の意見を聴き、奨学生としての資格を取り消すことができる。ただし、学長は、取り消しに当たり研究科委員会の意見を聴くことができる。
- 第9条** この規程に定めのない事項は、部局長会の意見を聴き学長が決定する。ただし、学長は、決定に当たり研究科委員会の意見を聴くことができる。
- 第10条** この規程の改廃は、部局長会の意見を聴き理事長が行う。ただし、理事長は、改廃に当たり研究科委員会の意見を聴くことができる。

附 則

この規程は、昭和61年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、平成元年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、平成14年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、平成20年3月24日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

公社兵看協発第 769 号
平成 29 年 11 月 25 日

神戸女子大学
学長 中島 實 様

公益社団法人兵庫県看護協会
会 長 中野 則子



大学院(博士前期課程・博士後期課程)の開設に関する要望書

時下 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より兵庫県看護協会活動につきまして、ご指導ご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

神戸女子大学におかれましては、「自立心・対話力・創造性」を培う教育により、対話を通して患者の心、看護の在り方を理解し、創造的な思考で自ら考え、責任ある人間として自立した視野の広い看護職の育成を目的に、兵庫県を中心に人材育成に取り組まれておりますこと、心強く思っております。

今、我が国におきましては、2025 年を見据えて少子超高齢社会に対応する社会保障制度を構築するために、少子化対策、医療、介護、年金の4分野の改革が本格化しております。医療・介護分野においては、高度急性期から在宅医療・介護まで、医療・介護・看護・生活支援を切れ目なく提供するために、効率的かつ質の高い医療提供体制と地域包括ケアシステムに向けて、県・市での取り組みが本格的に推進しております。

特に、医療は高度急性期から慢性期までの病床の機能分化連携、在宅医療の推進、医療と介護との連携や多職種協働を強化し、「病院完結型」から「地域完結型」へパラダイムシフトをしています。

このような社会情勢においては、高度な専門知識と科学的根拠に基づいた看護実践能力をもち、指導的役割を果たすことができる看護職の育成と看護ケア開発に必要な高度な教育・研究能力を備えた教育研究者が求められます。兵庫県におきましてもますますその必要性が高まっております。

このような時期に、貴大学が看護学研究科看護学専攻博士前期課程において、兵庫県において登録者が少ない慢性看護・小児看護の専門看護師コースと、高齢者看護学、地域看護学、精神看護学、女性看護学、看護実践デザイン・情報マネジメントの5つの研究コースの開設、同時に後期課程を開設されますことは、高度な専門知識を有する看護職および看護管理者の育成、教育研究者の育成に大きく寄与されるものと期待しております。

つきましては、貴大学に大学院をぜひとも開設していただきますようお願いいたします。なお、大学院開設につきましては、社会人入学につきましてもご配慮いただきますようお願いいたします。

神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）の
修了者に対する病院、養成学校等医療関連施設の
採用意向に関するアンケート調査報告

平成30年1月

一般財団法人 日本開発構想研究所

神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）の修了者に対する 病院、養成学校等医療関連施設の採用意向に関するアンケート調査報告

1. 調査概要

(1) 調査目的

平成 31 年 4 月に予定している神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）の開設に向けて、神戸女子大学大学院修了者の採用実績のある、または神戸女子大学大学院修了者の就職が見込まれる 2 府 13 県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県）の病院、養成学校等医療関連施設の採用担当者にアンケートを実施し、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）の修了者に対する病院、養成学校等医療関連施設の採用意向を把握することを目的とする。

(2) 調査対象

神戸女子大学大学院修了者の採用実績のある、または神戸女子大学大学院修了者の就職が見込まれる病院、養成学校等医療関連施設 934 施設の採用担当者にアンケート調査を実施。

(3) 調査方法

神戸女子大学大学院修了者の採用実績のある、または神戸女子大学大学院修了者の就職が見込まれる病院、養成学校等医療関連施設 934 施設の採用担当者にアンケート用紙及び神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）の概要を示したリーフレットを送付し、アンケートを実施した。回答用紙は一般財団法人日本開発構想研究所へ病院、養成学校等医療関連施設から直接郵送。

その結果、110 件の有効回答を得た。集計結果より、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）の修了者に対する採用意向を分析した。

(4) 調査実施期間

平成 29 年 11 月～平成 29 年 12 月

(5) 有効回収率等

配布数：934 施設 有効回答数：110 施設 有効回収率：約 11.7%

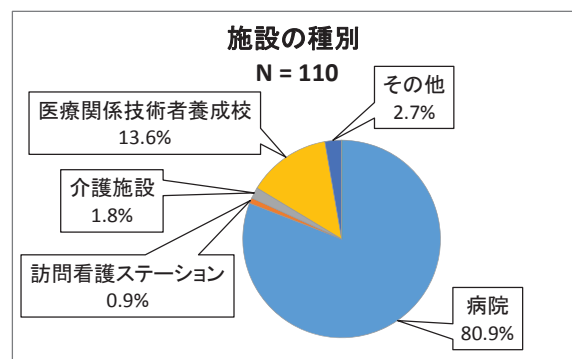
※神戸女子大学大学院にて設置を構想している看護学研究科看護学専攻は仮称であるが、その旨の表示を本文中では省略した。

2. 調査結果

(1) 施設の種別について

施設の種別について調査した結果、回答のあった病院、養成学校等医療関連施設 110 施設のうち、「病院」が 89 件（80.9%）と最も多く、次いで「医療関係技術者養成校」15 件（13.6%）、「その他」3 件（2.7%）、「介護施設」2 件（1.8%）、「訪問看護ステーション」1 件（0.9%）の順になっている。

施設の種別			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	病院	89	80.9
2	訪問看護ステーション	1	0.9
3	介護施設	2	1.8
4	医療関係技術者養成校	15	13.6
5	その他	3	2.7
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	110	100

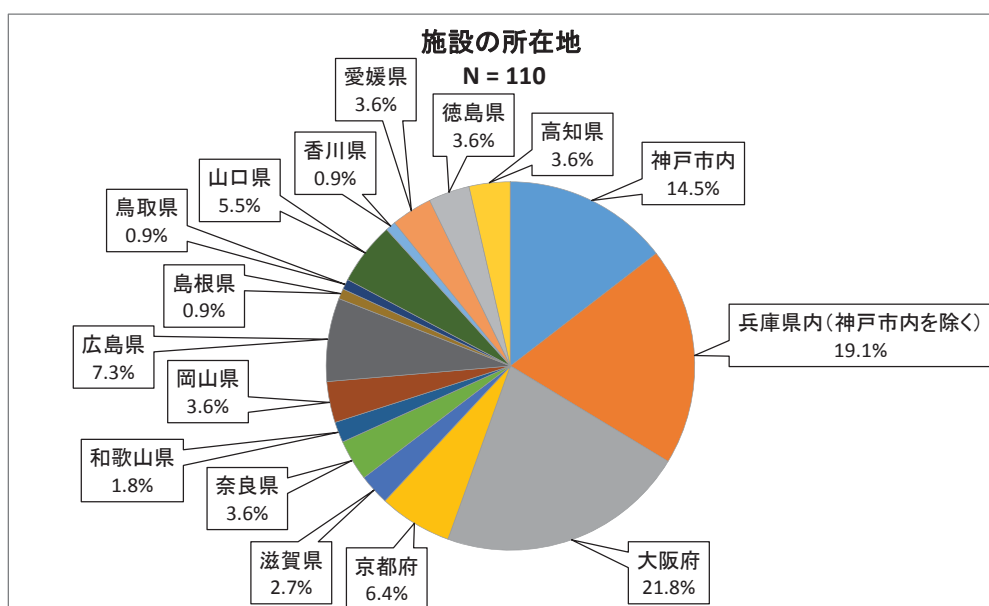


(2) 施設の所在地について

施設の所在地について調査した結果、回答のあった病院、養成学校等医療関連施設110施設のうち、「大阪府」が24件(21.8%)と最も多く、次いで「兵庫県内(神戸市内を除く)」21件(19.1%)、「神戸市内」16件(14.5%)、「広島県」8件(7.3%)、「京都府」7件(6.4%)、「山口県」6件(5.5%)、「奈良県」4件(3.6%)、「岡山県」4件(3.6%)、「愛媛県」4件(3.6%)、「徳島県」4件(3.6%)、「高知県」4件(3.6%)、「滋賀県」3件(2.7%)、「和歌山県」2件(1.8%)、「島根県」1件(0.9%)、「鳥取県」1件(0.9%)、「香川県」1件(0.9%)の順になっている。

施設の所在地

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	神戸市内	16	14.5
2	兵庫県内(神戸市内を除く)	21	19.1
3	大阪府	24	21.8
4	京都府	7	6.4
5	滋賀県	3	2.7
6	奈良県	4	3.6
7	和歌山県	2	1.8
8	岡山県	4	3.6
9	広島県	8	7.3
10	島根県	1	0.9
11	鳥取県	1	0.9
12	山口県	6	5.5
13	香川県	1	0.9
14	愛媛県	4	3.6
15	徳島県	4	3.6
16	高知県	4	3.6
17	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N(%へース)	110	100

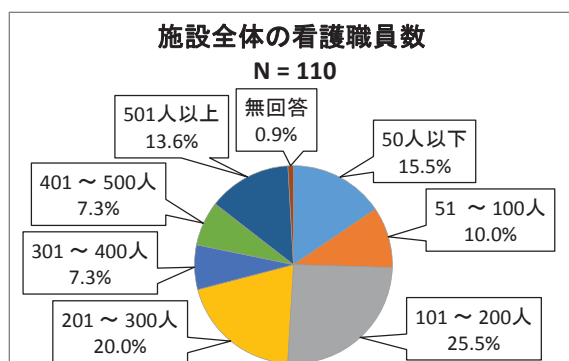


(3) 施設全体の看護職員数について

施設全体の看護職員数について調査した結果、回答のあった病院、養成学校等医療関連施設 110 施設のうち、「101～200人」が 28 件（25.5%）と最も多く、次いで「201～300人」 22 件（20.0%）、「50人以下」 17 件（15.5%）、「501人以上」 15 件（13.6%）、「51～100人」 11 件（10.0%）、「301～400人」 8 件（7.3%）、「401～500人」 8 件（7.3%）、「無回答」 1 件（0.9%）の順になっている。

施設全体の看護職員数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	50人以下	17	15.5
2	51～100人	11	10.0
3	101～200人	28	25.5
4	201～300人	22	20.0
5	301～400人	8	7.3
6	401～500人	8	7.3
7	501人以上	15	13.6
	無回答	1	0.9
	N (%ベース)	110	100



(4) 看護職を採用する際に重視する点について（複数回答）

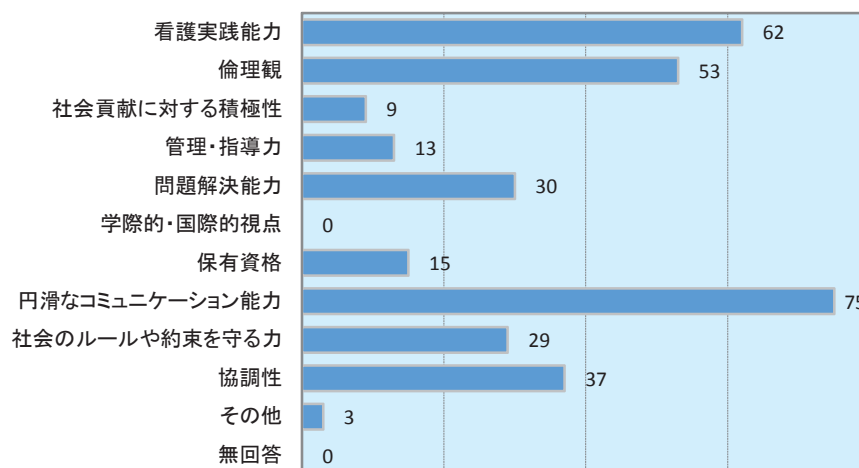
看護職を採用する際に特に重視している点について調査したところ、回答のあった病院、養成学校等医療関連施設 110 施設のうち、「円滑なコミュニケーション能力」が 75 件（68.2%）と最も多く、次いで「看護実践能力」62 件（56.4%）、「倫理観」53 件（48.2%）、「協調性」37 件（33.6%）、「問題解決能力」30 件（27.3%）、「社会のルールや約束を守る力」29 件（26.4%）、「保有資格」15 件（13.6%）、「管理・指導力」13 件（11.8%）、「社会貢献に対する積極性」9 件（8.2%）、「その他」3 件（2.7%）の順になっている。

看護職を採用する際に重視する点（複数回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	看護実践能力	62	56.4
2	倫理観	53	48.2
3	社会貢献に対する積極性	9	8.2
4	管理・指導力	13	11.8
5	問題解決能力	30	27.3
6	学際的・国際的視点	0	0.0
7	保有資格	15	13.6
8	円滑なコミュニケーション能力	75	68.2
9	社会のルールや約束を守る力	29	26.4
10	協調性	37	33.6
11	その他	3	2.7
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	110	100

看護職を採用する際に重視する点（複数回答）

N = 110

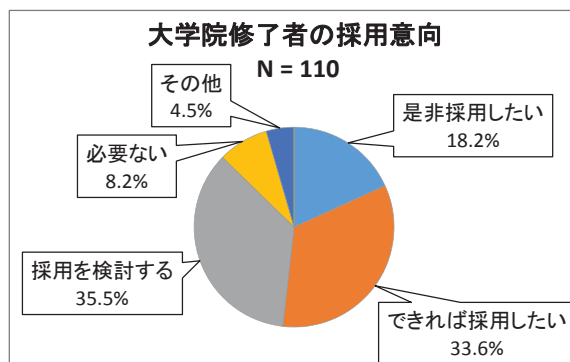


(5) 大学院修了者の採用意向について

将来的な大学院修了者の採用意向について調査したところ、回答のあった病院、養成学校等医療関連施設等 110 施設のうち、「採用を検討する」が 39 件 (35.5%) と最も多く、次いで「できれば採用したい」37 件 (33.6%)、「是非採用したい」20 件 (18.2%)、「必要ない」9 件 (8.2%)、「その他」5 件 (4.5%) の順になっている。

大学院修了者の採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	是非採用したい	20	18.2
2	できれば採用したい	37	33.6
3	採用を検討する	39	35.5
4	必要ない	9	8.2
5	その他	5	4.5
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	110	100



(6) 大学院修了者の採用意向の理由について（複数回答）

「(5) 大学院修了者の採用意向について」にて「是非採用したい」「できれば採用したい」「採用を検討する」と回答した 96 施設に採用意向の理由について調査した。

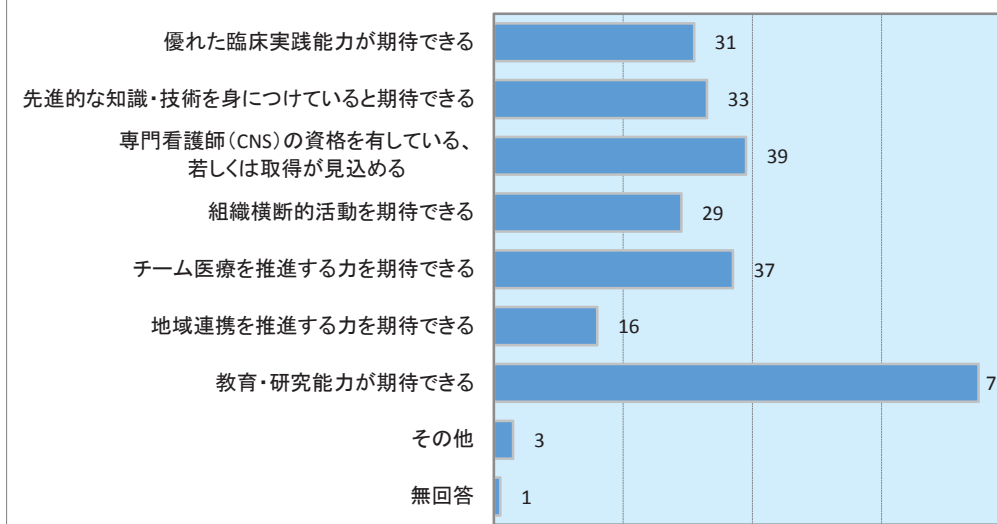
その結果、「教育・研究能力が期待できる」が 75 件（78.1%）と最も多く、次いで「専門看護師（CNS）の資格を有している、若しくは取得が見込める」39 件（40.6%）、「チーム医療を推進する力を期待できる」37 件（38.5%）、「先進的な知識・技術を身につけていると期待できる」33 件（34.4%）、「優れた臨床実践能力が期待できる」31 件（32.3%）、「組織横断的活動を期待できる」29 件（30.2%）、「地域連携を推進する力を期待できる」16 件（16.7%）、「その他」3 件（3.1%）、「無回答」1 件（1.0%）の順になっている。

大学院修了者の採用意向の理由(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	優れた臨床実践能力が期待できる	31	32.3
2	先進的な知識・技術を身につけていると期待できる	33	34.4
3	専門看護師(CNS)の資格を有している、若しくは取得が見込める	39	40.6
4	組織横断的活動を期待できる	29	30.2
5	チーム医療を推進する力を期待できる	37	38.5
6	地域連携を推進する力を期待できる	16	16.7
7	教育・研究能力が期待できる	75	78.1
8	その他	3	3.1
	無回答	1	1.0
	N (%ベース)	96	100

大学院修了者の採用意向の理由(複数回答)

N = 96



(7) 採用意向のある大学院修了者の看護分野について（複数回答）

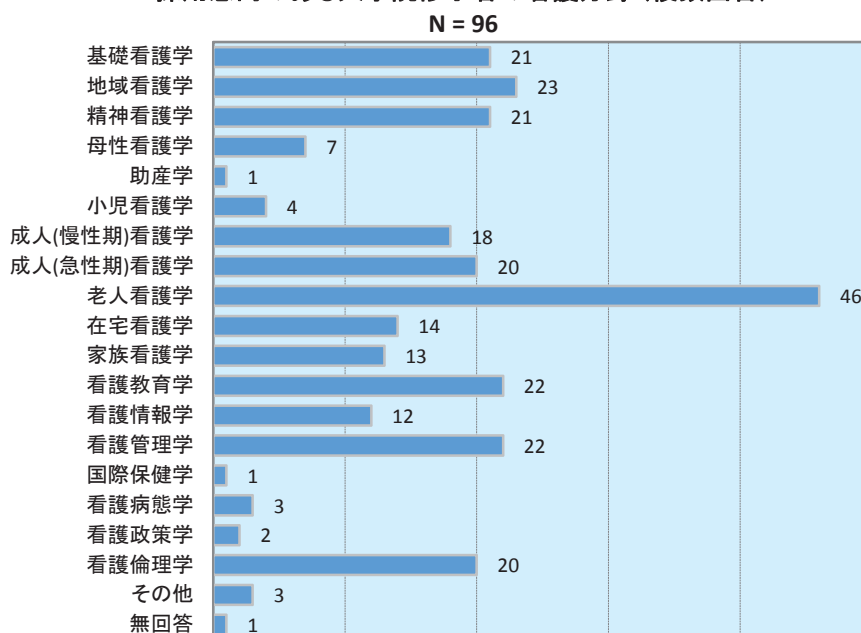
「(5) 大学院修了者の採用意向について」にて「是非採用したい」「できれば採用したい」「採用を検討する」と回答した 96 施設に採用意向のある大学院修了者の看護分野について調査した。

その結果 10 件以上の回答を得られたものを挙げると、「老人看護学」が 46 件（47.9%）と最も多く、次いで「地域看護学」23 件（24.0%）、「看護教育学」22 件（22.9%）、「看護管理学」22 件（22.9%）、「基礎看護学」21 件（21.9%）、「精神看護学」21 件（21.9%）、「成人(急性期)看護学」20 件（20.8%）、「看護倫理学」20 件（20.8%）、「成人(慢性期)看護学」18 件（18.8%）、「在宅看護学」14 件（14.6%）、「家族看護学」13 件（13.5%）、「看護情報学」12 件（12.5%）の順になっている。

採用意向のある大学院修了者の看護分野(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	基礎看護学	21	21.9
2	地域看護学	23	24.0
3	精神看護学	21	21.9
4	母性看護学	7	7.3
5	助産学	1	1.0
6	小児看護学	4	4.2
7	成人(慢性期)看護学	18	18.8
8	成人(急性期)看護学	20	20.8
9	老人看護学	46	47.9
10	在宅看護学	14	14.6
11	家族看護学	13	13.5
12	看護教育学	22	22.9
13	看護情報学	12	12.5
14	看護管理学	22	22.9
15	国際保健学	1	1.0
16	看護病態学	3	3.1
17	看護政策学	2	2.1
18	看護倫理学	20	20.8
19	その他	3	3.1
	無回答	1	1.0
	N (%へ入)	96	100

採用意向のある大学院修了者の看護分野(複数回答)



(8) 採用を考える専門看護師の専門看護分野について（複数回答）

「(5) 大学院修了者の採用意向について」にて「是非採用したい」「できれば採用したい」「採用を検討する」と回答した 96 施設に採用を考える専門看護師の専門看護分野について調査した。

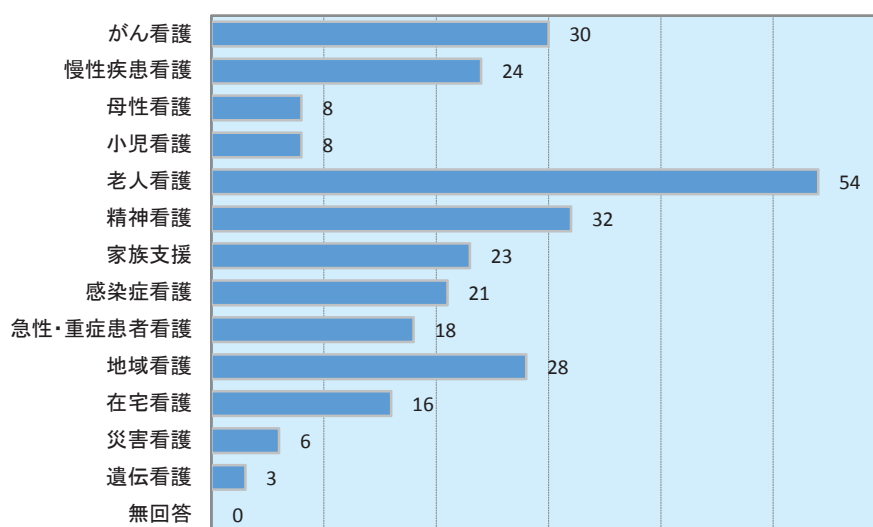
その結果、「老人看護」が 54 件（56.3%）と最も多く、次いで「精神看護」32 件（33.3%）、「がん看護」30 件（31.3%）、「地域看護」28 件（29.2%）、「慢性疾患看護」24 件（25.0%）、「家族支援」23 件（24.0%）、「感染症看護」21 件（21.9%）、「急性・重症患者看護」18 件（18.8%）、「在宅看護」16 件（16.7%）、「母性看護」8 件（8.3%）、「小児看護」8 件（8.3%）、「災害看護」6 件（6.3%）、「遺伝看護」3 件（3.1%）の順になっている。

採用を考える専門看護師の専門看護分野（複数回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	がん看護	30	31.3
2	慢性疾患看護	24	25.0
3	母性看護	8	8.3
4	小児看護	8	8.3
5	老人看護	54	56.3
6	精神看護	32	33.3
7	家族支援	23	24.0
8	感染症看護	21	21.9
9	急性・重症患者看護	18	18.8
10	地域看護	28	29.2
11	在宅看護	16	16.7
12	災害看護	6	6.3
13	遺伝看護	3	3.1
	無回答	0	0.0
	N (%へ入)	96	100

採用を考える専門看護師の専門看護分野（複数回答）

N = 96

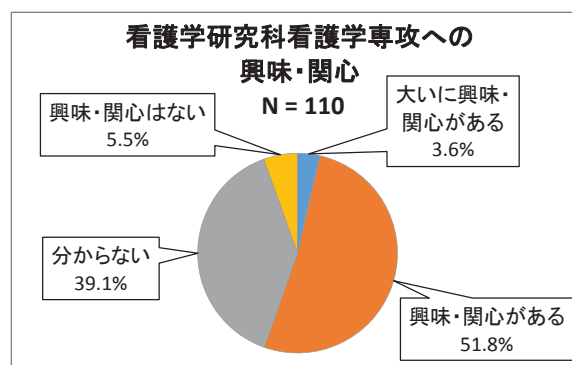


(9) 看護学研究科看護学専攻への興味・関心について

神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻の興味・関心について調査した結果、回答のあった病院、養成学校等医療関連施設 110 施設のうち、「興味・関心がある」が 57 件 (51.8%) と最も多く、次いで、「分からない」43 件 (39.1%)、「興味・関心はない」が 6 件 (5.5%)、「大いに興味・関心がある」4 件 (3.6%) の順になっている。

「大いに興味・関心がある」、「興味・関心がある」と肯定的な回答を合算すると、合計 61 件 (55.4%) が神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻に興味を示している。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大いに興味・関心がある	4	3.6
2	興味・関心がある	57	51.8
3	分からない	43	39.1
4	興味・関心はない	6	5.5
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	110	100



(10) 興味・関心の理由について（複数回答）

「(9) 看護学研究科看護学専攻への興味・関心について」にて神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻に興味・関心を示した 61 施設に、興味・関心の理由について調査した。

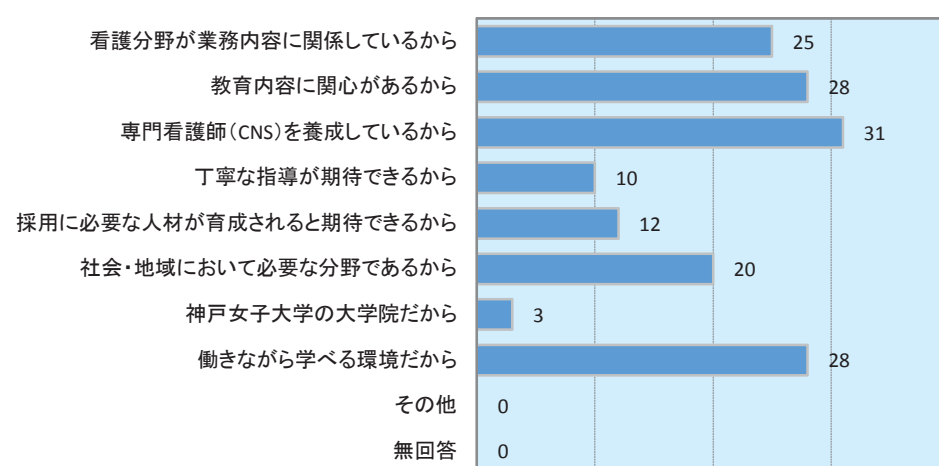
その結果は、「専門看護師（CNS）を養成しているから」が 31 件（50.8%）と最も多く、次いで「教育内容に関心があるから」28 件（45.9%）、「働きながら学べる環境だから」が 28 件（45.9%）、「看護分野が業務内容に関係しているから」25 件（41.0%）、「社会・地域において必要な分野であるから」20 件（32.8%）、「採用に必要な人材が育成されると期待できるから」12 件（19.7%）、「丁寧な指導が期待できるから」10 件（16.4%）、「神戸女子大学の大学院だから」3 件（4.9%）の順になっている。

興味・関心の理由（複数回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	看護分野が業務内容に関係しているから	25	41.0
2	教育内容に関心があるから	28	45.9
3	専門看護師(CNS)を養成しているから	31	50.8
4	丁寧な指導が期待できるから	10	16.4
5	採用に必要な人材が育成されると期待できるから	12	19.7
6	社会・地域において必要な分野であるから	20	32.8
7	神戸女子大学の大学院だから	3	4.9
8	働きながら学べる環境だから	28	45.9
9	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	61	100

興味・関心の理由（複数回答）

N = 61



(11) 看護学研究科看護学専攻の修了者の採用意向について

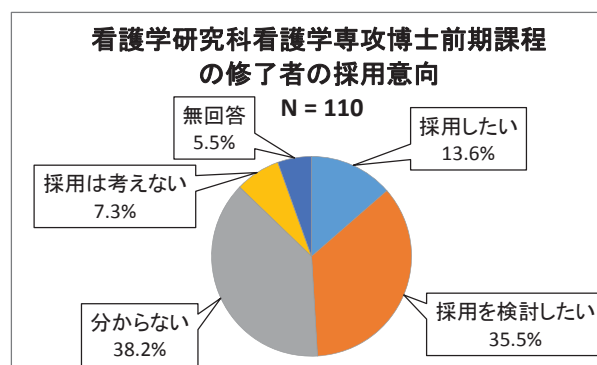
11-1 看護学研究科看護学専攻博士前期課程の修了者の採用意向について

神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程の修了者の採用意向について調査した結果、「分からない」が 42 件 (38.2%) と最も多く、次いで「採用を検討したい」39 件 (35.5%)、「採用したい」15 件 (13.6%)、「採用は考えない」8 件 (7.3%)、「無回答」6 件 (5.5%) の順になっている。

なお、「採用したい」、「採用を検討したい」の肯定的な回答を合算すると、54 件 (49.1%) となっている。

看護学研究科看護学専攻博士前期課程の修了者の採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	15	13.6
2	採用を検討したい	39	35.5
3	分からない	42	38.2
4	採用は考えない	8	7.3
	無回答	6	5.5
	N (%ベース)	110	100



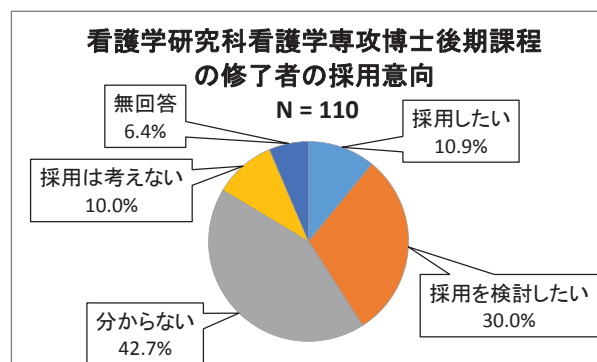
11-2 看護学研究科看護学専攻博士後期課程の修了者の採用意向について

神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程の修了者の採用意向について調査した結果、「分からない」が 47 件 (42.7%) と最も多く、次いで「採用を検討したい」33 件 (30.0%)、「採用したい」12 件 (10.9%)、「採用は考えない」11 件 (10.0%)、「無回答」7 件 (6.4%) の順になっている。

なお、「採用したい」、「採用を検討したい」の肯定的な回答を合算すると、45 件 (40.9%) となっている。

看護学研究科看護学専攻博士後期課程の修了者の採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	12	10.9
2	採用を検討したい	33	30.0
3	分からない	47	42.7
4	採用は考えない	11	10.0
	無回答	7	6.4
	N (%ベース)	110	100



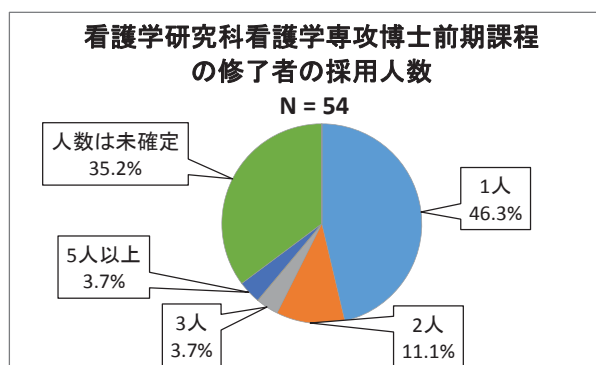
(12) 看護学研究科看護学専攻の修了者の採用人数について

12-1 看護学研究科看護学専攻博士前期課程の修了者の採用人数について

「(11) 11-1 看護学研究科看護学専攻博士前期課程の修了者の採用意向について」で肯定的な採用意向を示した 54 施設に対して、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程の修了者の将来的な採用人数について調査したところ、「1 人」が 25 件 (46.3%) と最も多く、次いで「人数は未確定」19 件 (35.2%)、「2 人」6 件 (11.1%)、「3 人」2 件 (3.7%)、「5 人以上」2 件 (3.7%) の順になっている。

看護学研究科看護学専攻博士前期課程の修了者の採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	25	46.3
2	2人	6	11.1
3	3人	2	3.7
4	4人	0	0.0
5	5人以上	2	3.7
6	人数は未確定	19	35.2
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	54	100

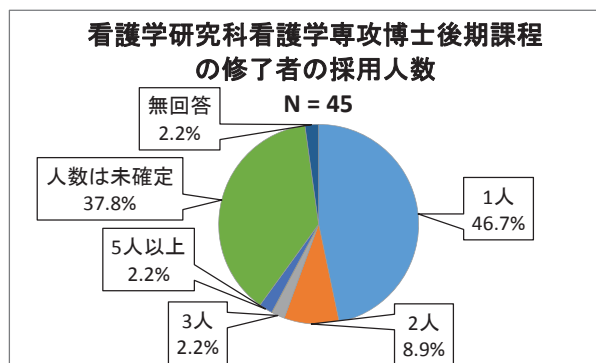


12-2 看護学研究科看護学専攻博士後期課程の修了者の採用人数について

「(11) 11-2 看護学研究科看護学専攻博士後期課程の修了者の採用意向について」で肯定的な採用意向を示した 45 施設に対して、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程の修了者の将来的な採用人数について調査したところ、「1 人」が 21 件 (46.7%) と最も多く、次いで「人数は未確定」17 件 (37.8%)、「2 人」4 件 (8.9%)、「3 人」1 件 (2.2%)、「5 人以上」1 件 (2.2%)、「無回答」1 件 (2.2%) の順になっている。

看護学研究科看護学専攻博士後期課程の修了者の採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	21	46.7
2	2人	4	8.9
3	3人	1	2.2
4	4人	0	0.0
5	5人以上	1	2.2
6	人数は未確定	17	37.8
	無回答	1	2.2
	N (%ベース)	45	100



(13) 現役の看護職員の大学院進学を支援する制度・取り組みについて（複数回答）

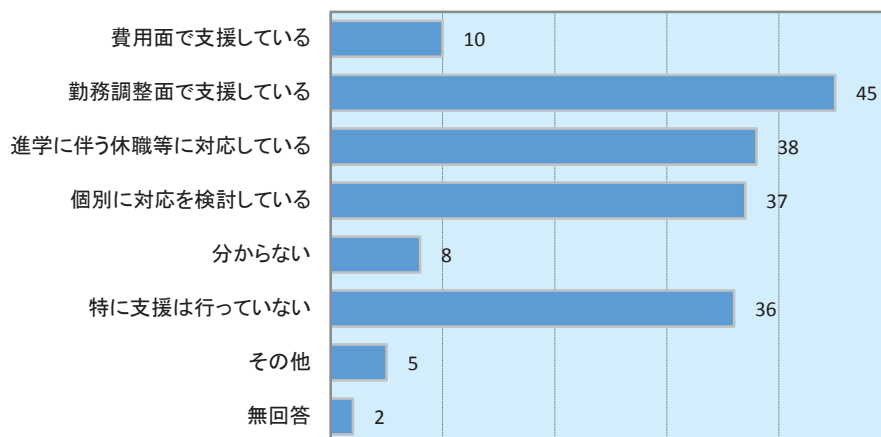
現役の看護職員の大学院進学を支援する制度・取り組みについて調査したところ、「勤務調整面で支援している」が 45 件（40.9%）と最も多く、次いで、「進学に伴う休職等に対応している」38 件（34.5%）、「個別に対応を検討している」37 件（33.6%）、「特に支援は行っていない」36 件（32.7%）、「費用面で支援している」10 件（9.1%）、「分からない」8 件（7.3%）、「その他」5 件（4.5%）、「無回答」2 件（1.8%）の順になっている。

現役の看護職員の大学院進学を支援する制度・取り組み（複数回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	費用面で支援している	10	9.1
2	勤務調整面で支援している	45	40.9
3	進学に伴う休職等に対応している	38	34.5
4	個別に対応を検討している	37	33.6
5	分からない	8	7.3
6	特に支援は行っていない	36	32.7
7	その他	5	4.5
	無回答	2	1.8
	N (%ベース)	110	100

現役の看護職員の大学院進学を支援する制度・取り組み（複数回答）

N = 110



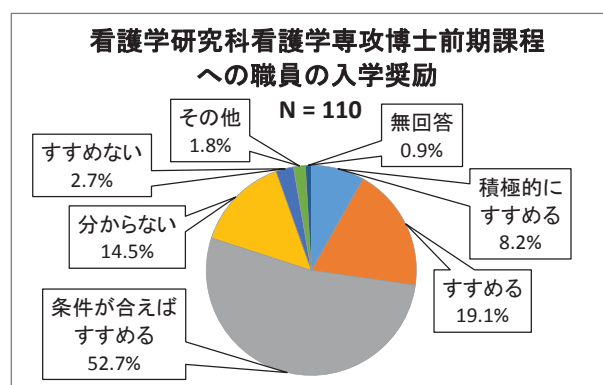
(14) 看護学研究科看護学専攻への職員の入学奨励について

14-1 看護学研究科看護学専攻博士前期課程への職員の入学奨励について

神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程への職員の入学奨励について調査したところ、「条件が合えばすすめる」が 58 件 (52.7%) と最も多く、次いで、「すすめる」21 件 (19.1%)、「分からない」16 件 (14.5%)、「積極的にすすめる」9 件 (8.2%)、「すすめない」3 件 (2.7%)、「その他」2 件 (1.8%)、「無回答」1 件 (0.9%) の順になっている。

看護学研究科看護学専攻博士前期課程への職員の入学奨励

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	積極的にすすめる	9	8.2
2	すすめる	21	19.1
3	条件が合えばすすめる	58	52.7
4	分からない	16	14.5
5	すすめない	3	2.7
6	その他	2	1.8
	無回答	1	0.9
	N (%ベース)	110	100

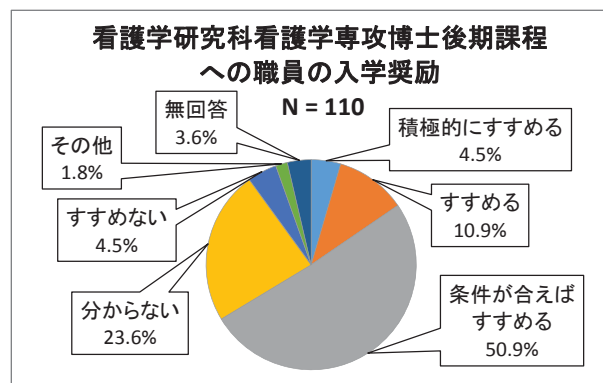


14-2 看護学研究科看護学専攻博士後期課程への職員の入学奨励について

神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程への職員の入学奨励について調査したところ、「条件が合えばすすめる」が 56 件 (50.9%) と最も多く、次いで、「分からない」26 件 (23.6%)、「すすめる」12 件 (10.9%)、「積極的にすすめる」5 件 (4.5%)、「すすめない」5 件 (4.5%)、「無回答」4 件 (3.6%)、「その他」2 件 (1.8%) の順になっている。

看護学研究科看護学専攻博士後期課程への職員の入学奨励

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	積極的にすすめる	5	4.5
2	すすめる	12	10.9
3	条件が合えばすすめる	56	50.9
4	分からない	26	23.6
5	すすめない	5	4.5
6	その他	2	1.8
	無回答	4	3.6
	N (%ベース)	110	100



3. 調査結果のまとめ

神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻の修了者に対する将来的な採用意向人数の集計にあたっては、「(11) 看護学研究科看護学専攻の修了者の採用意向について」の肯定的な回答数と、「(12) 看護学研究科看護学専攻の修了者の採用人数について」の将来的な採用人数の各選択肢（「1人」、「2人」、「3人」、「4人」、「5人以上」、「人数は未確定（※）」）を乗じ、これを合計し、算出した。

※「人数は未確定」とは、「(11) 看護学研究科看護学専攻の修了者の採用意向について」にて、「採用したい」、「採用を検討したい」と回答し将来的な採用意向は示すが、アンケートの時点では将来的な採用人数について確定していないものである。したがって、本調査では「人数は未確定」の将来的な採用人数を最低数である「1人」として計算した。

看護学研究科看護学専攻博士前期課程

下記の表より、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程の修了者に対する採用意向人数は「採用したい」のみで合計した場合、28人分となる。入学定員は8名であるため、3.5倍の採用意向を確保できている。

また、「採用したい」、「採用を検討したい」と回答した施設を合計すると72人分となり、これは入学定員8人に対して、9倍となる。

看護学研究科看護学専攻博士前期課程

回答数(件)	「採用したい」のみ		合計
人数(人)			
1人(A)	5	(a)	(A) × (a) 5
2人(B)	3	(b)	(B) × (b) 6
3人(C)	1	(c)	(C) × (c) 3
4人(D)	-	(d)	(D) × (d) -
5人以上(E)	2	(e)	(E) × (e) 10
人数は未確定(F)	4	(f)	(F) × (f) 4
無回答	-		

合計採用意向 28人

※採用人数が無回答であった場合は、計算から除外した

回答数(件)	「採用したい」「採用を検討したい」の合計		合計
人数(人)			
1人(A)	25	(a)	(A) × (a) 25
2人(B)	6	(b)	(B) × (b) 12
3人(C)	2	(c)	(C) × (c) 6
4人(D)	-	(d)	(D) × (d) -
5人以上(E)	2	(e)	(E) × (e) 10
人数は未確定(F)	19	(f)	(F) × (f) 19
無回答	-		

合計採用意向 72人

看護学研究科看護学専攻博士後期課程

下記の表より、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程の修了者に対する採用意向人数は「採用したい」のみで合計した場合、19人分となる。入学定員は3名であるため、約6.3倍の採用意向を確保できている。

また、「採用したい」、「採用を検討したい」と回答した施設を合計すると54人分となり、これは入学定員3人に対して、18倍となる。

看護学研究科看護学専攻博士後期課程

回答数(件)	「採用したい」のみ		合計
人数(人)			
1人(A)	5	(a)	(A) × (a) 5
2人(B)	1	(b)	(B) × (b) 2
3人(C)	1	(c)	(C) × (c) 3
4人(D)	-	(d)	(D) × (d) -
5人以上(E)	1	(e)	(E) × (e) 5
人数は未確定(F)	4	(f)	(F) × (f) 4
無回答	-		

合計採用意向 19人

※採用人数が無回答であった場合は、計算から除外した

回答数(件)	「採用したい」「採用を検討したい」の合計		合計
人数(人)			
1人(A)	21	(a)	(A) × (a) 21
2人(B)	4	(b)	(B) × (b) 8
3人(C)	1	(c)	(C) × (c) 3
4人(D)	-	(d)	(D) × (d) -
5人以上(E)	1	(e)	(E) × (e) 5
人数は未確定(F)	17	(f)	(F) × (f) 17
無回答	1		

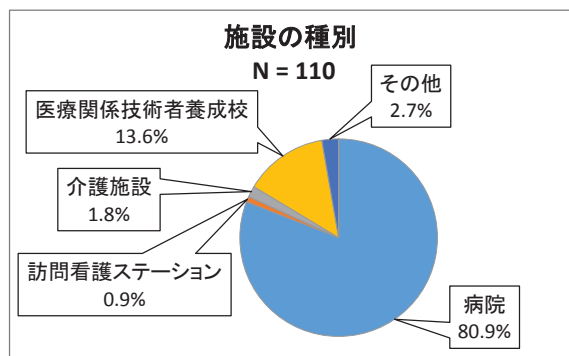
合計採用意向 54人

以上の調査結果と、今回の調査対象以外の進路も考えられることから、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻の修了者の進路は十分に確保できるものとする。

単純集計表

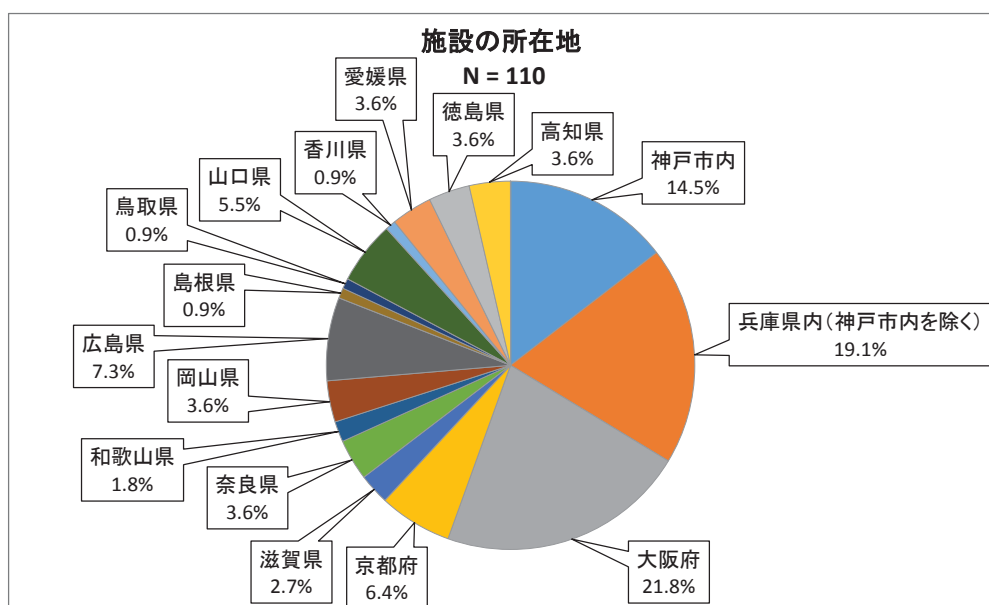
施設の種別

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	病院	89	80.9
2	訪問看護ステーション	1	0.9
3	介護施設	2	1.8
4	医療関係技術者養成校	15	13.6
5	その他	3	2.7
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	110	100



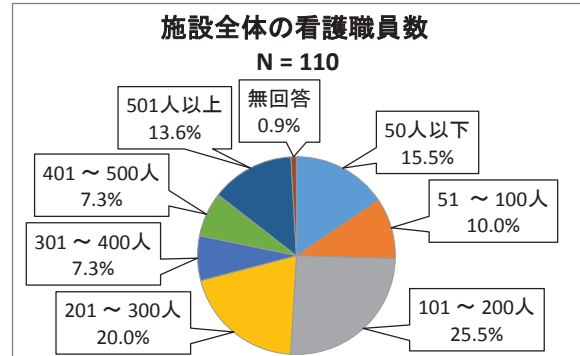
施設の所在地

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	神戸市内	16	14.5
2	兵庫県内(神戸市内を除く)	21	19.1
3	大阪府	24	21.8
4	京都府	7	6.4
5	滋賀県	3	2.7
6	奈良県	4	3.6
7	和歌山県	2	1.8
8	岡山県	4	3.6
9	広島県	8	7.3
10	島根県	1	0.9
11	鳥取県	1	0.9
12	山口県	6	5.5
13	香川県	1	0.9
14	愛媛県	4	3.6
15	徳島県	4	3.6
16	高知県	4	3.6
17	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	110	100



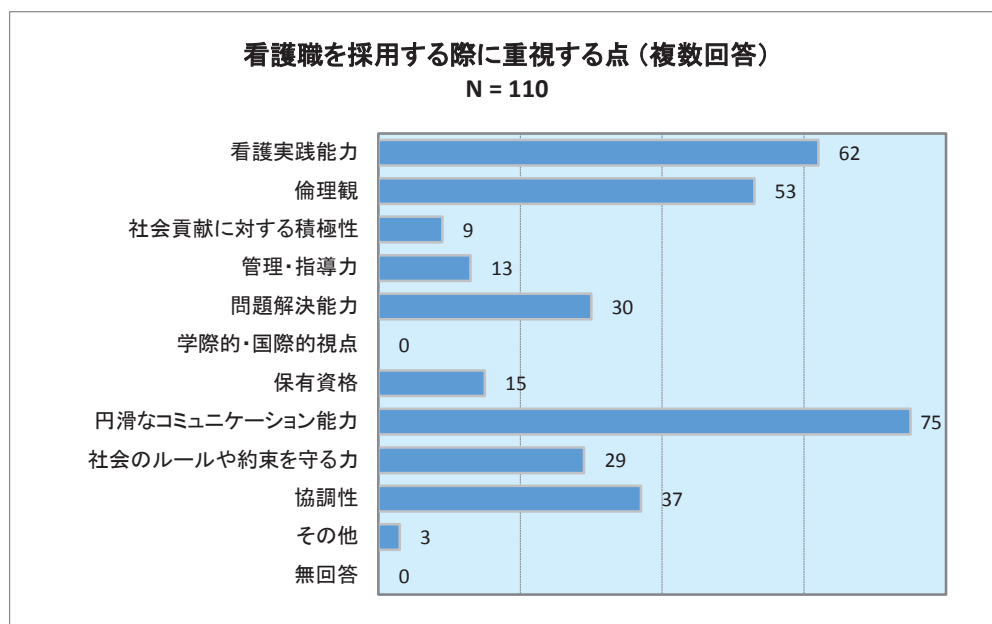
施設全体の看護職員数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	50人以下	17	15.5
2	51 ~ 100人	11	10.0
3	101 ~ 200人	28	25.5
4	201 ~ 300人	22	20.0
5	301 ~ 400人	8	7.3
6	401 ~ 500人	8	7.3
7	501人以上	15	13.6
	無回答	1	0.9
	N (%ベース)	110	100



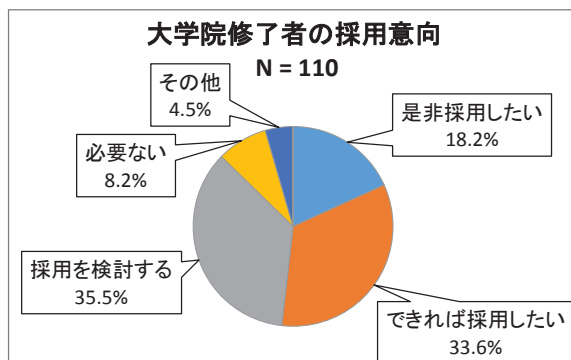
看護職を採用する際に重視する点(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	看護実践能力	62	56.4
2	倫理観	53	48.2
3	社会貢献に対する積極性	9	8.2
4	管理・指導力	13	11.8
5	問題解決能力	30	27.3
6	学際的・国際的視点	0	0.0
7	保有資格	15	13.6
8	円滑なコミュニケーション能力	75	68.2
9	社会のルールや約束を守る力	29	26.4
10	協調性	37	33.6
11	その他	3	2.7
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	110	100



大学院修了者の採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	是非採用したい	20	18.2
2	できれば採用したい	37	33.6
3	採用を検討する	39	35.5
4	必要ない	9	8.2
5	その他	5	4.5
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	110	100

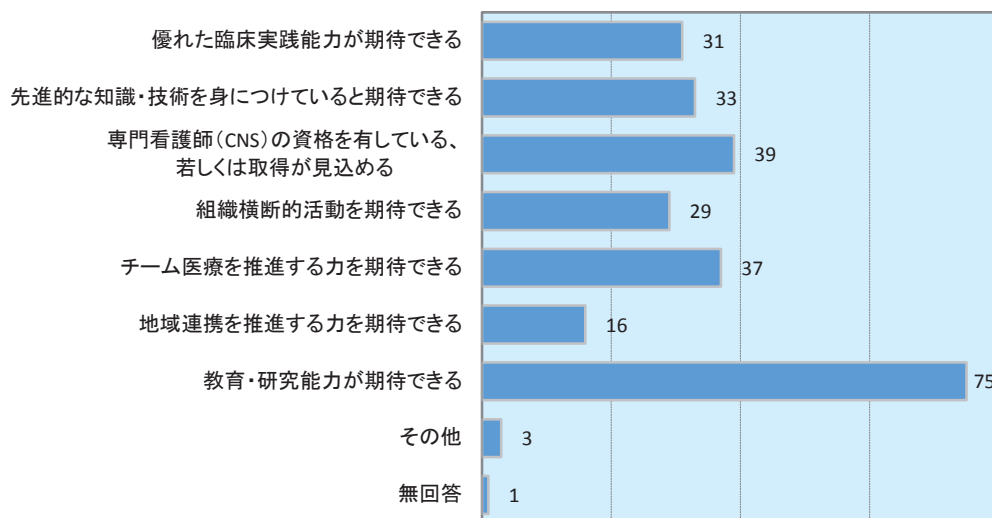


大学院修了者の採用意向の理由(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	優れた臨床実践能力が期待できる	31	32.3
2	先進的な知識・技術を身につけていると期待できる	33	34.4
3	専門看護師(CNS)の資格を有している、若しくは取得が見込める	39	40.6
4	組織横断的活動を期待できる	29	30.2
5	チーム医療を推進する力を期待できる	37	38.5
6	地域連携を推進する力を期待できる	16	16.7
7	教育・研究能力が期待できる	75	78.1
8	その他	3	3.1
	無回答	1	1.0
	N (%ベース)	96	100

大学院修了者の採用意向の理由(複数回答)

N = 96

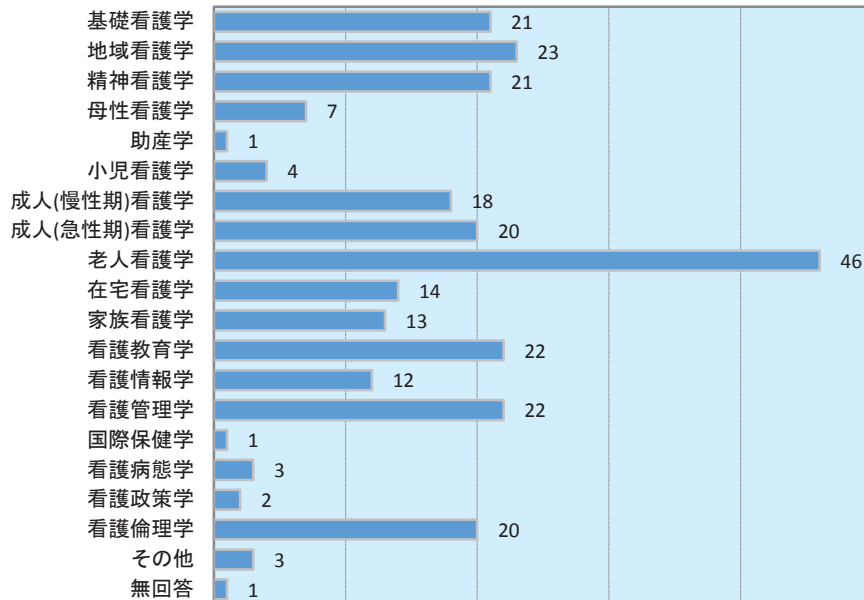


採用意向のある大学院修了者の看護分野(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	基礎看護学	21	21.9
2	地域看護学	23	24.0
3	精神看護学	21	21.9
4	母性看護学	7	7.3
5	助産学	1	1.0
6	小児看護学	4	4.2
7	成人(慢性期)看護学	18	18.8
8	成人(急性期)看護学	20	20.8
9	老人看護学	46	47.9
10	在宅看護学	14	14.6
11	家族看護学	13	13.5
12	看護教育学	22	22.9
13	看護情報学	12	12.5
14	看護管理学	22	22.9
15	国際保健学	1	1.0
16	看護病態学	3	3.1
17	看護政策学	2	2.1
18	看護倫理学	20	20.8
19	その他	3	3.1
	無回答	1	1.0
	N (%ベース)	96	100

採用意向のある大学院修了者の看護分野(複数回答)

N = 96

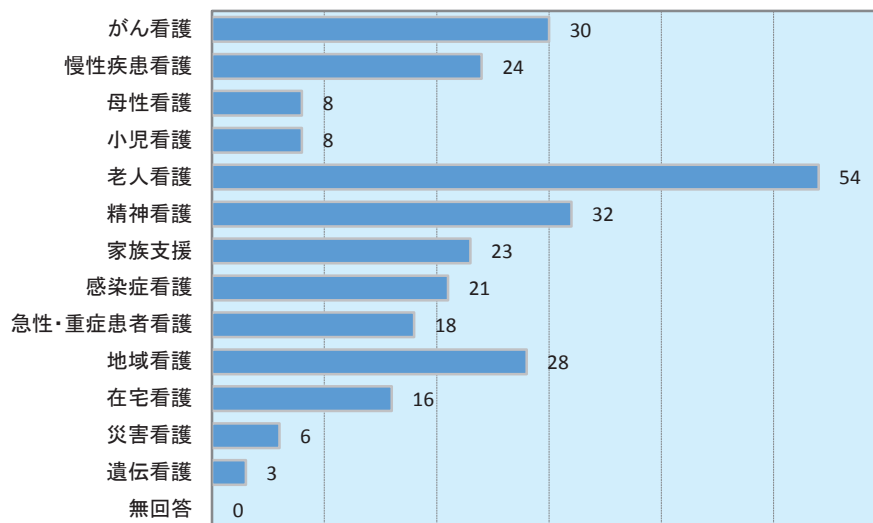


採用を考える専門看護師の専門看護分野(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	がん看護	30	31.3
2	慢性疾患看護	24	25.0
3	母性看護	8	8.3
4	小児看護	8	8.3
5	老人看護	54	56.3
6	精神看護	32	33.3
7	家族支援	23	24.0
8	感染症看護	21	21.9
9	急性・重症患者看護	18	18.8
10	地域看護	28	29.2
11	在宅看護	16	16.7
12	災害看護	6	6.3
13	遺伝看護	3	3.1
	無回答	0	0.0
	N (%へ-入)	96	100

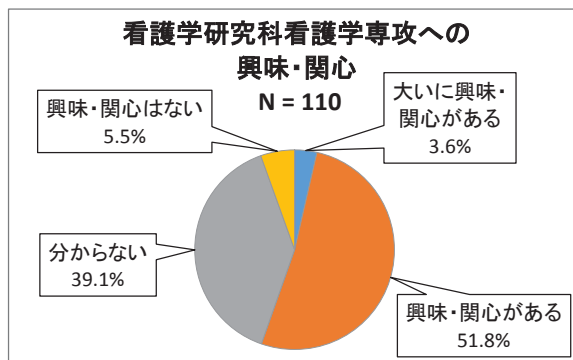
採用を考える専門看護師の専門看護分野(複数回答)

N = 96



看護学研究科看護学専攻への興味・関心

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大いに興味・関心がある	4	3.6
2	興味・関心がある	57	51.8
3	分からない	43	39.1
4	興味・関心はない	6	5.5
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	110	100

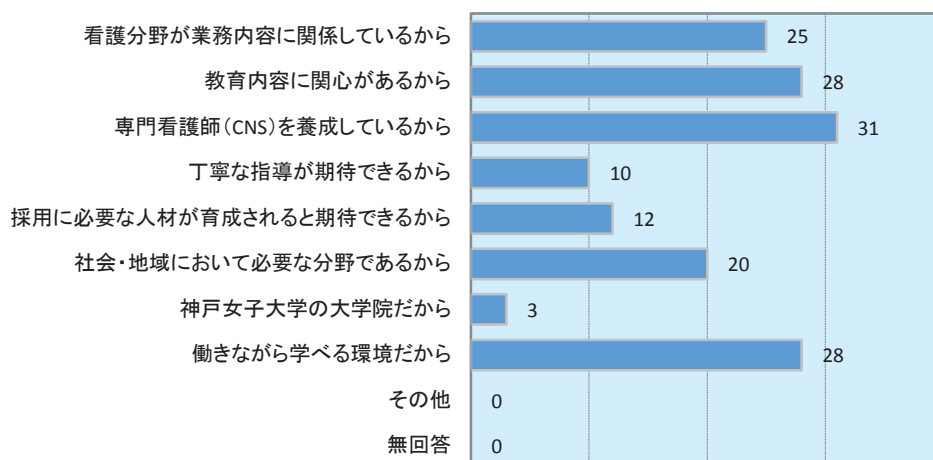


興味・関心の理由(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	看護分野が業務内容に関係しているから	25	41.0
2	教育内容に関心があるから	28	45.9
3	専門看護師(CNS)を養成しているから	31	50.8
4	丁寧な指導が期待できるから	10	16.4
5	採用に必要な人材が育成されると期待できるから	12	19.7
6	社会・地域において必要な分野であるから	20	32.8
7	神戸女子大学の大学院だから	3	4.9
8	働きながら学べる環境だから	28	45.9
9	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	61	100

興味・関心の理由(複数回答)

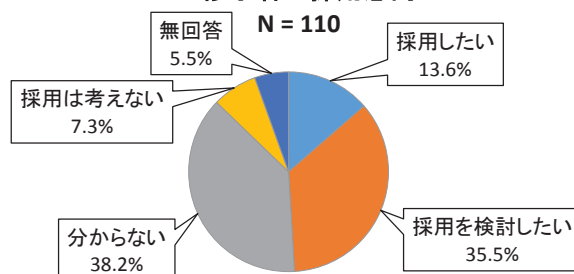
N = 61



看護学研究科看護学専攻博士前期課程の修了者の採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	15	13.6
2	採用を検討したい	39	35.5
3	分からない	42	38.2
4	採用は考えない	8	7.3
	無回答	6	5.5
	N (%ベース)	110	100

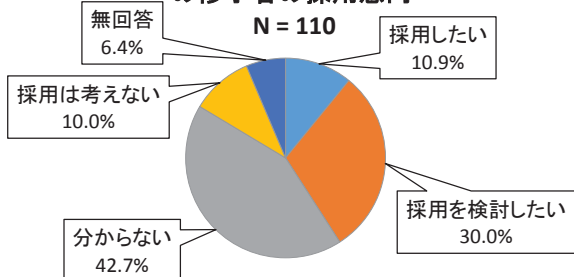
看護学研究科看護学専攻博士前期課程の修了者の採用意向



看護学研究科看護学専攻博士後期課程の修了者の採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	12	10.9
2	採用を検討したい	33	30.0
3	分からない	47	42.7
4	採用は考えない	11	10.0
	無回答	7	6.4
	N (%ベース)	110	100

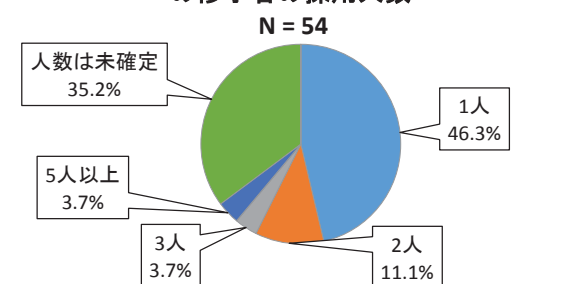
看護学研究科看護学専攻博士後期課程の修了者の採用意向



看護学研究科看護学専攻博士前期課程の修了者の採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	25	46.3
2	2人	6	11.1
3	3人	2	3.7
4	4人	0	0.0
5	5人以上	2	3.7
6	人数は未確定	19	35.2
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	54	100

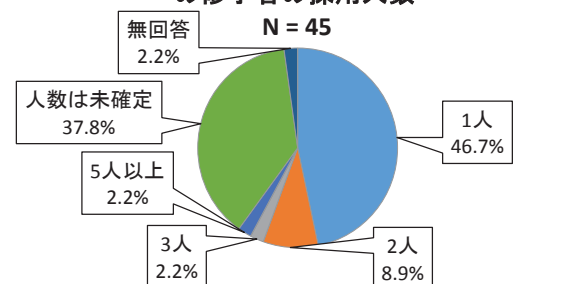
看護学研究科看護学専攻博士前期課程の修了者の採用人数



看護学研究科看護学専攻博士後期課程の修了者の採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	21	46.7
2	2人	4	8.9
3	3人	1	2.2
4	4人	0	0.0
5	5人以上	1	2.2
6	人数は未確定	17	37.8
	無回答	1	2.2
	N (%ベース)	45	100

看護学研究科看護学専攻博士後期課程の修了者の採用人数

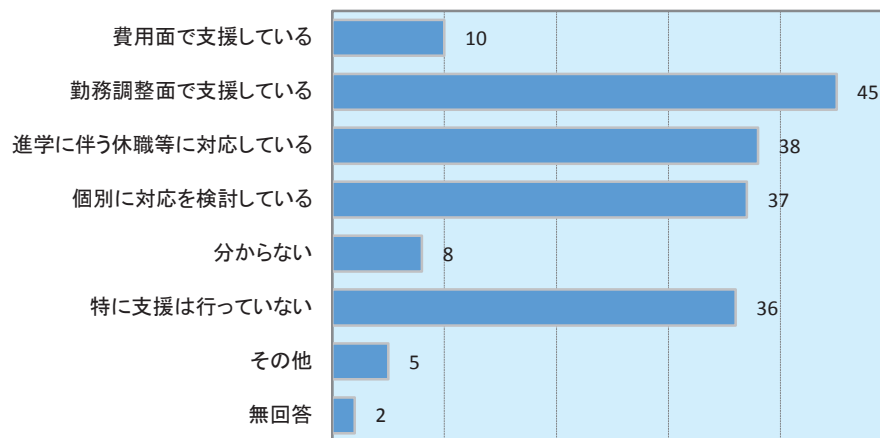


現役の看護職員の大学院進学を支援する制度・取り組み(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	費用面で支援している	10	9.1
2	勤務調整面で支援している	45	40.9
3	進学に伴う休職等に対応している	38	34.5
4	個別に対応を検討している	37	33.6
5	分からない	8	7.3
6	特に支援は行っていない	36	32.7
7	その他	5	4.5
	無回答	2	1.8
	N (%ベース)	110	100

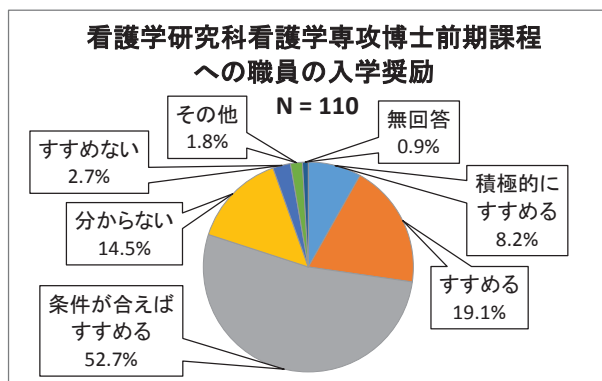
現役の看護職員の大学院進学を支援する制度・取り組み(複数回答)

N = 110



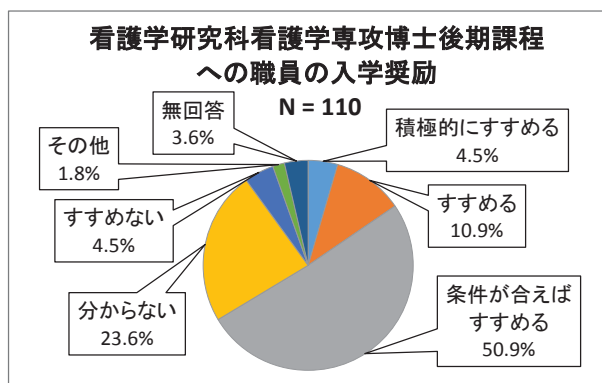
看護学研究科看護学専攻博士前期課程への職員の
入学奨励

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	積極的にすすめる	9	8.2
2	すすめる	21	19.1
3	条件が合えばすすめる	58	52.7
4	分からない	16	14.5
5	すすめない	3	2.7
6	その他	2	1.8
	無回答	1	0.9
	N (%ベース)	110	100



看護学研究科看護学専攻博士後期課程への職員の
入学奨励

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	積極的にすすめる	5	4.5
2	すすめる	12	10.9
3	条件が合えばすすめる	56	50.9
4	分からない	26	23.6
5	すすめない	5	4.5
6	その他	2	1.8
	無回答	4	3.6
	N (%ベース)	110	100



調査票

神戸女子大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（仮称）
 博士前期課程・博士後期課程の設置に係るアンケート調査

このアンケート調査は、平成31年 4 月に開設する予定の神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）の設置計画の基礎資料とするため、採用等に関する意向等についてお聞きするものです。ご協力をお願い致します。
 ※アンケート結果は、統計資料としてのみ用い、目的以外に利用することはありません。
 ※回答は、該当する番号を設問右の回答欄の □ の中へ直接記入してください。

問1 貴施設の種類について、次の中から該当する番号を1つお選びください。 【回答欄】

- | | | |
|--------------|----------------------------|-----|
| 1 病院 | 4 医療関係技術者養成校 | } □ |
| 2 訪問看護ステーション | 5 その他 [| |
| 3 介護施設 | ※「その他」を選択した場合は具体的にご記入ください。 | |

問2 貴施設の所在地について、次の中から該当する番号を1つお選びください。

- | | | | |
|----------------------------|--------|----------|-----|
| 1 神戸市内 | 7 和歌山県 | 13 香川県 | } □ |
| 2 兵庫県内（神戸市内を除く） | 8 岡山県 | 14 愛媛県 | |
| 3 大阪府 | 9 広島県 | 15 徳島県 | |
| 4 京都府 | 10 島根県 | 16 高知県 | |
| 5 滋賀県 | 11 鳥取県 | 17 その他[| |
| 6 奈良県 | 12 山口県 | 都・道・府・県] | |
| ※「その他」を選択した場合は具体的にご記入ください。 | | | |

問3 貴施設（施設全体）における看護職員数（看護教員含む）について、次の中から該当する番号を1つお選びください。

- | | | | |
|--------------|--------------|----------|-----|
| 1 50人 以下 | 4 201 ～ 300人 | 7 501人以上 | } □ |
| 2 51 ～ 100人 | 5 301 ～ 400人 | | |
| 3 101 ～ 200人 | 6 401 ～ 500人 | | |

問4 貴施設では看護職員（看護教員含む）を採用する際に、特にどのようなことを重視していますか。次の中から該当するものを3つまでお選びください。

- | | | |
|----------------------------|------------------|-----|
| 1 看護実践能力 | 6 学際的・国際的視点 | } □ |
| 2 倫理観 | 7 保有資格 | |
| 3 社会貢献に対する積極性 | 8 円滑なコミュニケーション能力 | |
| 4 管理・指導力 | 9 社会のルールや約束を守る力 | |
| 5 問題解決能力 | 10 協調性 | |
| | 11 その他 [| |
| ※「その他」を選択した場合は具体的にご記入ください。 | | |

問5 貴施設における将来的な大学院修了者の採用意向について、次の中から1つお選びください。

- | | |
|----------------------------|-----|
| 1 是非採用したい | } □ |
| 2 できれば採用したい | |
| 3 採用を検討する | |
| 4 必要ない | |
| 5 その他 [| |
| ※「その他」を選択した場合は具体的にご記入ください。 | |
- 1～3を選択された方は
 問6へお進みください。
 4、5を選択された方は
 問9へお進みください。

問6 問5で「1 是非採用したい」「2 できれば採用したい」「3 採用を検討する」と回答したのはどのような理由からですか。次の中から該当するものを3つまでお選びください。

- | | |
|-----------------------------------|-----|
| 1 優れた臨床実践能力が期待できる | } □ |
| 2 先進的な知識・技術を身につけていると期待できる | |
| 3 専門看護師（CNS）の資格を有している、若しくは取得が見込める | |
| 4 組織横断的活動を期待できる | |
| 5 チーム医療を推進する力を期待できる | |
| 6 地域連携を推進する力を期待できる | |
| 7 教育・研究能力が期待できる | |
| 8 その他 [| |
| ※「その他」を選択した場合は具体的にご記入ください。 | |

問7 貴施設では下記の内どの分野を学んだ大学院修了者を採用したいですか。
次の中から該当するものを3つまでお選びください。

- | | | |
|---------|--------------|------------|
| 1 基礎看護学 | 7 成人(慢性期)看護学 | 13 看護情報学 |
| 2 地域看護学 | 8 成人(急性期)看護学 | 14 看護管理学 |
| 3 精神看護学 | 9 老人看護学 | 15 国際保健学 |
| 4 母性看護学 | 10 在宅看護学 | 16 看護病態学 |
| 5 助産学 | 11 家族看護学 | 17 看護政策学 |
| 6 小児看護学 | 12 看護教育学 | 18 看護倫理学 |
| | | 19 その他 [] |

※「その他」を選択した場合は具体的にご記入ください。

問8 貴施設では専門看護師を採用する場合、どの専門看護分野での採用が考えられますか。
次の中から該当するものを3つまでお選びください。

- | | | |
|----------|-------------|---------|
| 1 がん看護 | 6 精神看護 | 11 在宅看護 |
| 2 慢性疾患看護 | 7 家族支援 | 12 災害看護 |
| 3 母性看護 | 8 感染症看護 | 13 遺伝看護 |
| 4 小児看護 | 9 急性・重症患者看護 | |
| 5 老人看護 | 10 地域看護 | |

ここからは、神戸女子大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（仮称）のリーフレットを読んでお答えください。

[神戸女子大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（仮称）について]

問9 本学設置予定の看護学研究科看護学専攻（仮称）について、どのように考えられますか。
次の中から1つお選びください。

- | | |
|---------------|---|
| 1 大いに興味・関心がある | } |
| 2 興味・関心がある | |
| 3 分からない | |
| 4 興味・関心はない | |

1、2を選択された方は問10へお進みください。
3、4を選択された方は問11へお進みください。

--

問10 問9で「1 大いに興味・関心がある」「2 興味・関心がある」を選択した理由を次の中から3つまでお選びください。

- | | |
|--------------------------|---|
| 1 看護分野が業務内容に関係しているから | } |
| 2 教育内容に関心があるから | |
| 3 専門看護師（CNS）を養成しているから | |
| 4 丁寧な指導が期待できるから | |
| 5 採用に必要な人材が育成されると期待できるから | |
| 6 社会・地域において必要な分野であるから | |
| 7 神戸女子大学の大学院だから | |
| 8 働きながら学べる環境だから | |
| 9 その他 [] | |

※「その他」を選択した場合は具体的にご記入ください。

問11 本学設置予定の看護学研究科看護学専攻（仮称）修了生の採用意向について、次の中からそれぞれ1つお選びください。

- | | | |
|------------|-----------|---|
| 1 採用したい | 博士前期課程修了者 | } |
| 2 採用を検討したい | | |
| 3 分からない | | } |
| 4 採用は考えない | 博士後期課程修了者 | |

いずれかで1、2を選択された方は問12へお進みください。
それ以外の方は問13へお進みください。

問 12 本学設置予定の看護学研究科看護学専攻（仮称）修了生の貴施設での将来的な採用について、問 11 で「1 採用したい」「2 採用を検討したい」を選択された課程修了者の年間の採用人数を次の中からそれぞれ 1 つお選びください。

- | | | | |
|------|----------|-----------|--------------------------|
| 1 1人 | 5 5人以上 | 博士前期課程修了者 | <input type="checkbox"/> |
| 2 2人 | 6 人数は未確定 | | |
| 3 3人 | | | |
| 4 4人 | | 博士後期課程修了者 | <input type="checkbox"/> |

[神戸女子大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（仮称）への看護職員の入学について]

問 13 貴施設では、現役の看護職員（看護教員含む）の大学院進学を支援する制度を設けている、又は取り組みを行っていますか。次の中から3つまでお選びください。

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1 費用面で支援している | <input type="checkbox"/> |
| 2 勤務調整面で支援している | |
| 3 進学に伴う休職等に対応している | |
| 4 個別に対応を検討している | |
| 5 分からない | |
| 6 特に支援は行っていない | |
| 7 その他 [] | |
- ※「その他」を選択した場合は具体的にご記入ください。

問 14 貴施設では、仮に現役の看護職員（看護教員含む）から本学設置予定の看護学研究科看護学専攻（仮称）で学びたいと申し入れがあった場合、入学をすすめますか。次の中からそれぞれ 1 つお選びください。

- | | | |
|--------------|--------|--------------------------|
| 1 積極的にすすめる | 博士前期課程 | <input type="checkbox"/> |
| 2 すすめる | | |
| 3 条件が合えばすすめる | | |
| 4 分からない | | |
| 5 すすめない | 博士後期課程 | <input type="checkbox"/> |
| 6 その他 [] | | |
- ※「その他」を選択した場合は具体的にご記入ください。

問 15 本学が構想中の看護学研究科看護学専攻（仮称）の設置計画についてご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。その他、大学の教育内容・活動等についてご希望があれば、あわせてご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力誠にありがとうございました。

学校法人吉学園 学園企画部学園企画課（担当：田中・三嶋）
電話：078-303-4816

神戸女子大学大学院
看護学研究科 看護学専攻
(仮称)

博士前期課程
博士後期課程

ポートアイランドキャンパスに
平成31年4月開設予定

KOBE
WOMEN'S
UNIVERSITY

看護学研究科看護学専攻(仮称)の目的

本研究科では、本学の教育目標である「自立心・対話力・創造性」を培う教育により、対話を通して患者の心、看護の在り方を理解し、創造的な思考で自ら考え、責任ある人間として自立した視野の広い看護職を育成することを目的としています。

地域で暮らす人々の生活を支え健康課題に対応するため、自立して活躍できる高度実践看護者や実践に役立つ看護ケアの開発者、及びコミュニティ・ケアシステムを生み出すことができ、次世代の看護を担う教育者・研究者の育成を目指します。



神戸女子大学大学院
KOBE WOMEN'S UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL

【お問い合わせ】
〒650-0046
神戸市中央区港島中町4丁目7-2
TEL: (078) 303-4816
学校法人行吉学園 学園企画部学園企画課

※内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

看護学研究科 看護学専攻 博士前期課程（仮称）

入学定員 : 8名（収容定員16名）
 学 位 : 修士（看護学）
 標準修業年限 : 2年（最大在学年数4年）

◆ 教育目的

建学の精神に則り、生命の尊厳への深い理解と実践科学としての看護の本質を探究する姿勢を育み、卓越した看護実践能力と研究能力の基盤を備えて、社会に貢献できる人材を育成します。

専門看護師コース 設置予定
 （高度実践看護師教育課程）

◆ 出願資格

保健師、助産師、看護師のいずれかの免許を取得（見込みを含む）し、次の各項のいずれかに該当する女子とする。

- ① 学士の学位を有する者、又は入学前年度までに取得見込みの者
- ② 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は入学前年度までに修了見込みの者
- ③ 文部科学大臣の定めるところにより大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
- ④ その他、本学大学院において個別に出願資格があると判定された者

※ 出願資格については事前に個別にご相談ください。

◆ 修了要件

博士前期課程においては2年以上在学し、所定の単位を修得したうえで修士の学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む）の審査を受け、最終試験に合格すること。

博士前期課程のコース・カリキュラムについて

専門看護師コース
慢性看護 （慢性疾患看護専門看護師）
小児看護 （小児看護専門看護師）

研究コース
【 内容 】 高齢者看護、地域看護、看護実践デザイン・情報マネジメント※、精神看護、女性看護といった内容の科目を想定しています。

※「看護実践デザイン・情報マネジメント」
看護サービスの可視化や看護情報の活用による、新たな価値開発とマネジメントを探索。

共通科目	専門科目	※演習・研究科目
高度な看護実践能力及び対象に応じた高い教育能力、研究に必要なとされる基本的な能力を育成するための基礎となる科目を配置する。	高度専門職業人を目指す専門看護師コースでは、専門看護師教育課程の教育内容に準じて科目を配置する。 教育・研究者の養成を目指す研究コースでは、高度な実践能力及び対象に応じた高い教育能力、研究の遂行に必要なとされる基本的な能力を育成する科目を配置する。	高度な看護を実践するための知識・技術を修得し、リサーチワークによって研究能力を養うための科目を配置する。

※【演習・研究科目】専門看護師コースは課題研究、研究コースは特別研究

◆ 養成する人材像

看護ケア開発に必要な研究の基礎的能力、教育・実践のコミュニティを育成する能力を有する教育研究者及び、地域で暮らす人々を支える高度実践看護師の育成を目指します。

◆ 想定される修了後の進路

- ・医療機関の専門看護師や教育担当者
- ・看護系教育機関の教員
- ・保健医療福祉施設や行政機関の実践者や管理者
- ・職能団体の職員
- ・医療関連企業や研究機関の研究員等

◆ 社会人に対する配慮

- ・長期履修制度により、授業料の負担を抑え、3年或いは4年での計画的履修が可能。
- ・大学院設置基準第14条の教育方法の特例を実施（昼夜開講制）。夜間、土曜日の授業及び集中講義を併用し、社会人が履修しやすいよう配慮。
- ・本学の給付型奨学金制度による費用負担の軽減。

※内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

看護学研究科 看護学専攻 博士後期課程（仮称）

入学定員 : 3名（収容定員9名）
 学 位 : 博士（看護学）
 標準修業年限 : 3年（最大在学年数6年）

◆ 教育目的

建学の精神に則り、高い倫理観と高度な教育・研究能力を備え、研究活動を通して看護学の発展に寄与するとともに、社会に貢献できる人材を育成します。

◆ 出願資格

保健師、助産師、看護師のいずれかの免許を取得（見込みを含む）し、次の各項のいずれかに該当する女子とする。

- ① 修士の学位、若しくは専門職学位を有する者、又は入学前年度までに取得見込みの者
- ② 外国において修士の学位、若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は入学前年度までにその見込みのある者
- ③ 文部科学大臣の定めるところにより修士の学位、若しくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者
- ④ その他、本学大学院において個別に出願資格があると判定された者

※ 出願資格については事前に個別にご相談ください。

◆ 修了要件

博士後期課程においては3年以上在学し、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けたうえで、博士の学位論文の審査及び試験に合格することを必要とする。

博士後期課程のカリキュラムについて

科目区分	内 容	
共通科目	看護課題を解決するための研究デザイン及び方法を開発できる高度な研究能力を養い、広く分野横断的な視点を養う。	高齢者看護、看護ケア・教育、看護政策・マネジメント、看護情報、精神看護、看護病態、国際保健といった内容の科目を想定しています。
専門科目	広範な看護課題や健康問題について、現在の対策・支援・ケア及び支援システム等の有効性や課題を考察し、援助方法論の創出等、より高度な研究能力を養う。	
演習・研究科目	それぞれの専門領域における新たなエビデンスを創造できる、革新的な研究能力や卓越した教育能力を培う。関心に基づいた看護の問題現象の知識を深めるとともに、自律して研究活動が行える高度な研究能力を養う。	

◆ 養成する人材像

地域で暮らす人々を支援する看護ケアを開発し、実践に応用できる革新的研究能力や、分野横断的な視点を持ちながら人や組織と連携して共同開発ができる卓越した教育能力を有する教育研究者の育成を目指します。

◆ 想定される修了後の進路

- ・看護系教育機関の教員
- ・保健医療福祉施設や行政機関、研究機関における教育・研究者

◆ 社会人に対する配慮

- ・大学院設置基準第14条の教育方法の特例を実施（昼夜開講制）。夜間、土曜日の授業及び集中講義を併用し、社会人が履修しやすいよう配慮。
- ・本学の給付型奨学金制度による費用負担の軽減。

※内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

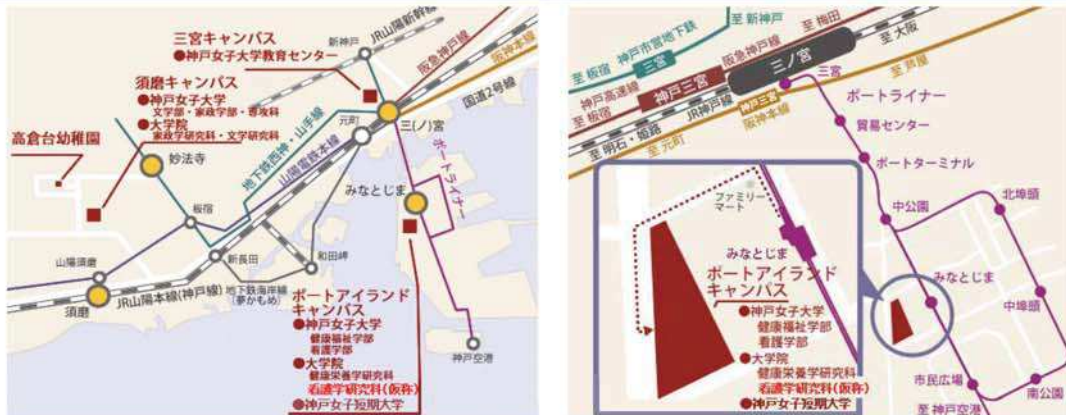
類似する近隣の大学院

所在	大学院名	研究科名 専攻名	学位	コース	専門看護師 教育課程分野	入学金	授業料等 (年額)	初年度 合計
京都	京都光華女子大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	—	—	180,000円	900,000円	1,080,000円
京都	京都橋大学大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	専門看護師コース	母性、老年、精神	200,000円	630,000円	830,000円
				研究コース	—			
			博士	—	—			
大阪	藍野大学大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	—	—	100,000円	750,000円	850,000円
大阪	大阪医科大学大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	高度実践コース	慢性、母性、小児、精神	200,000円	580,000円	780,000円
				教育研究コース	—			
			博士	—	—			
大阪	摂南大学大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	—	—	150,000円	870,000円	1,020,000円
兵庫	関西看護医療大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	高度実践看護職養成コース	—	300,000円	1,100,000円	1,400,000円
				教育者・研究者養成コース	—	300,000円	800,000円	1,100,000円
兵庫	関西国際大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	専門看護師(CNS)コース	リハビリ・ケア	200,000円	800,000円	1,000,000円
				修士論文コース	—			
兵庫	関西福祉大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士 博士	—	—	240,000円	900,000円	1,140,000円
兵庫	甲南女子大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	—	がん、老年	200,000円	500,000円	700,000円
兵庫	姫路大学大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	—	—	200,000円	700,000円	900,000円
兵庫	兵庫医療大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	—	がん、リハビリ・ケア	100,000円	500,000円	600,000円
兵庫	武庫川女子大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	・看護学研究コース ・看護学研究保健師コース	—	280,000円	1,000,000円	1,280,000円
			博士	—	—	280,000円	900,000円	1,180,000円
兵庫	神戸女子大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻 (仮称)	修士	専門看護師コース	慢性、小児	200,000円 (予定)	750,000円 ※(予定)	950,000円 (予定)
				研究コース	—			
			博士	—	—			

※博士前期課程の専門看護師コースを選択した場合、実習費が実費で必要となります。

注)各大学の情報は日本私立大学団体連合会『学生納付金等調査(平成29年度入学生)』及び大学公式ホームページ(平成29年4月時点)より調査。

ACCESS



三ノ宮駅・三宮駅からポートライナーの「神戸空港行き」「北埠頭行き」に乗り、「みなとじま駅」で下車。(乗車時間約10分)「みなとじま駅」より徒歩5分。

※内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。